



11・12月に市内で行われたイベントについてお知らせします

日光国立公園マウンテンランニング大会

11月13日(日)、未舗装の山道を駆け抜ける「日光国立公園マウンテンランニング大会」が市内で初めて開催されました。

コースは、表参道をスタートし、外山から登山道へ入り、大山や霧降高原を抜けて稲荷川沿いを下り、二荒山神社をゴールとした約30km。標高差約1,000メートルの起伏のある過酷なレースに433名のランナーが参加しました。

午前8時に一斉にスタートし、所々で前日の雨によるぬかるみに足を取られるランナーもいましたが、力強い走りでゴールを目指しました。途中3カ所にはエイド(休憩所)が設けられ、大勢のボランティアが水やバナナの他、日光名物の湯波や羊羹などを配りながら「頑張ってください」と笑顔で励ましていました。



外山の登山道を走るランナー

観光客も見守る二荒山神社のゴールでは、藤飛翔さん(早稲田大学)が、3時間11分6秒の記録とともにガッツポーズでゴール。

周りから大きな拍手で迎えられる。一方、女性の部で優勝した桑原絵理さん(福島県郡山市)は、「きれいで魅力的なコースを走れてよかったです。とても楽しく、貴重な体験をしました。また参加したいです」と笑顔で話していました。

続々とゴールするランナーたちのユニフォームは一樣に汚れていましたが、皆すがすがしい表情だったのが印象的でした。また、12月16日(金)には、この大会を主催した「日光トレイルランニング実行委員会」の佐藤尊久委員長が市を訪れ、スポーツの振興のために3万円を寄附しました。



笑顔でゴールする藤さん

2016日光そばまつり

11月18日(金)～20日(日)、今年で15回目を迎えた「日光そばまつり」が、日光だいや川公園で開催されました。

今年は、県内各地や北海道、福島県、福井県などから22店が出店。3日間で9万2,000人が来場し、新そばを堪能しました。

また、そば打ち道具や農産品など県内外から62店の物産コーナーも出店し、多くの来場者でにぎわいました。



そばつゆまで飲み干す子ども

生岡神社子供強飯式

11月25日(金)、七里の生岡神社で子供強飯式が行われました。この行事は、市無形文化財に指定されており、無病息災や豊作を祈って行われるものです。

小学生が顔に隈取りなど施したユニークな山伏と強力に扮し、強飯頂戴人に口上を述べます。ほら貝の合図で山伏が登場すると、「やい強力、料理をもて」と強く口上。

その後、強力が力強く足を踏み鳴らしながら「一粒でも残してはならん」と頂戴人を責め立てると、その堂々とした姿に大勢の参拝者たちから大きな拍手が送られました。

今回山伏と強力を務めたのは、日光小学校5年生の椎谷友宣さんと山崎純成さん。「練習通り上手にできました。この伝統を残していきたいです」と話してくれました。



口上を述べる山伏



力強く責め立てる強力



いろは坂女子駅伝大会

11月27日(日)、第3回目日光いろは坂女子駅伝大会が開催されました。今大会は14の大学から15チームが参加し、標高差875メートルの過酷なコースで熱戦を繰り広げました。

曇り空の下、日光だいや川公園を出発したランナーたちは、日光二荒山神社中宮祠までの6区間、23・4キロメートルを力走。前回



優勝した大東文化大学

優勝の大東文化大学は、第1中継所通過時点で8位と厳しいスタートでしたが、その後徐々に順位を上げ、最終6区中盤で大阪芸術大学を抜いてトップでゴール。2年連続、2回目の優勝を飾りました。表彰式で同大学の齋藤暁選手は、「世界遺産のあるこの地で、チームのみんなと走れてよかったです」と感想を語っていました。



表彰式の様子

市政・教育功労者等表彰式

11月23日(水・祝)、今市文化会館で、平成28年度市政・教育功労者等表彰式を開催しました。

市政や教育行政に功労のあった方々や模範児童・生徒の表彰を行った他、フィールドホッケーでリオデジャネイロオリンピックに出場した柴田あかね氏、^{しばた}大家涼子^{おおいえりようこ}氏に市民栄誉賞の授与を行いました。代表者が壇上で表彰状を受け取ると、会場からは大きな拍手が上がっていました。



市民栄誉賞の花束を受け取る柴田氏

今月の表紙

霧降高原トライアルバイク大会

11月20日(日)、霧降高原トライアルバイク大会が20年ぶりにニュー霧降高原キャンプ場特設会場で行われました。この大会はアマチュアライダーとして全国で活躍している日光観光大使の^{くもはら}森原佳朗氏が呼びかけ実現しました。

当日は、約40名が参加し、バイクのトライアルテクニックを競った他、^{くもはら}森原氏ら若手ライダーたちによるトライアルテクニックを披露するデモンストレーションも行われました。ウィリー走行や大きな岩をバイクで乗り越える技術に会場から歓声が沸きました。

家族3人で会場を訪れていた^{たなか}田中さん(宇都宮市)は「新聞を見て、この大会を知りました。今までトライアルバイクの競技を見たことが無く、今回見ることで



トライアルバイクを試乗する観客

てよかったです。また、若い人たちのデモンストレーションはとても迫力がありました」と、とても満足そうな笑顔で答えてくれました。



デモンストレーションをしたライダーたち



慎重にコースを進む参加者